

11/21 学生部企画健康教育：保健室 MEMO

傷病者への学内対応【簡易版】

学内で傷病者がいた場合に、どこに連絡をするかなど本学での対応について簡単にまとめています。

※保健室 HP でも学内の AED 設置場所、心肺蘇生について案内をしています。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/assets/uploads/2024/03/7dac0129de2f4ba861629f55c290ae11.pdf>

○傷病者が発生した場合の初期対応：救急車を呼んだら事務と保健室へ連絡を！

急病人・けが人の発生 **※反応・状態の確認**

<現場責任者は以下を踏まえての対応をお願いします>

○初期対応・経過確認 ○傷病者を一人にしない ○必要に応じて引継ぎ

緊急対応
※右の症状では必ず要請

受診の判断に迷う
急病・けがの場合

○責任者を決めましょう。
初期対応の実施・指示を担当
○引き継ぐまで対応を継続しましょう。
(救急隊員など到着後の状況説明まで)

救急車要請：**119**
周囲への協力要請
AED依頼

保健室：**045-904-7660**

*保健室不在の場合：**#7119**
(消防庁 救急相談センター)

発見時に反応がなかった場合

→ **呼吸の確認** (胸やお腹の動きを確認)

- ・呼吸なし：胸骨圧迫を開始
- ・呼吸あり：救急車を待つ・必要時応急処置
- ・わからない：胸骨圧迫を開始

事務への連絡

渋谷キャンパスの場合

→ 教務課・学生生活課・総務課

たまプラーザキャンパスの場合

→ たまプラーザ事務課

○夜間/休日/保健室閉室で発生したら：救急車を呼んだら警備室へ連絡を！

擦り傷程度の応急処置物品は警備室にありますが、「意識がない・動けない」場合、「(意識があって動けても)2項目の症状がある場合」には救急車要請をしましょう。

※熱中症による健康障害をおこさないための初期対応

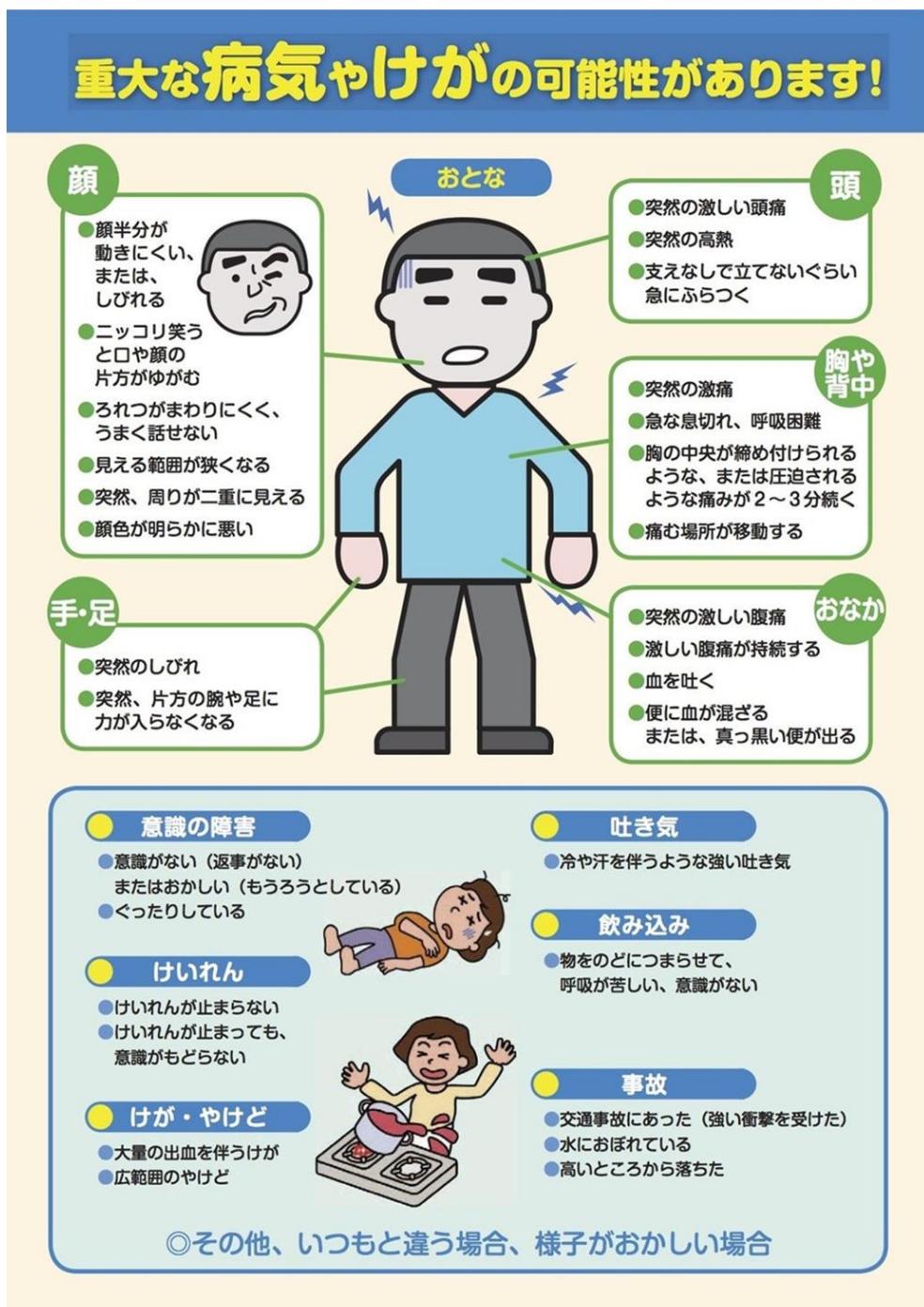
年々、暑熱環境が厳しくなっています。身边に発生しやすい傷病として熱中症の初期対応を確認しましょう。

活動を中断し、体を冷やす (救急車到着までの間、継続して冷やす)

- * 日陰、エアコンのきいた屋内へ移動する
- * 水で濡らしたタオルで拭く、風を当てる
- * 経口補水液などで水分と塩分を補給する



○意識があっても、以下の症状が見られた場合には救急車を呼びましょう！



出典：消防庁「救急車を上手に使いましょう」より抜粋… https://www.fdma.go.jp/publication/portal/items/portal002_japanese.pdf

※上記の他に、アナフィラキシー症状がある場合（エピペンを使用しても）救急車を呼びましょう。

○救急隊に引き継ぐ際の留意事項（伝える内容）

- ★発見時の状況、その後の状態の変化、実施した救急処置の内容。
- ★持病について、知っていること（病名、以前も同じ症状で倒れた、内服薬等）。
- ★もし、確認ができていたら以下も伝える。
 - ・いつまで（何時まで）症状がない状態だったか。
 - ・何をきっかけに具合が悪くなったか。